

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名              |    | 公表日  |     | 令和8年5月8日 |  |   |
|-------------------|----|--|-----|----------|--|---|
| ほっこりの里 放課後等デイサービス |    |  |     |          |  |   |
|                   |    | チェック項目   |     | 工夫している点  |  | 課題や改善すべき点   |
|                   |    | はい   | いいえ |          |  |   |
| 環境・体制整備           | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | ○   |          | ・十分なスペースがあり、適切である。<br>・静養室があり、利用者の状況で使い分けている   | ・利用者が多い日は地域交流スペースを使用する等、工夫が必要。                          |
|                   | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | ○   |          | ・フォローを必要とするお子さんが多く、必要以上の職員配置を行っている。  | ・人員基準は満たしているが、5領域を取り入れた、療育、発達支援を継続して行うには、より充実した職員配置は必要。 |
|                   | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | ○   |          | ・発語のない児童には絵カードを使用してもらっている。<br>・施設内は段差なく、バリアフリー対応している                                   | ・設備は充実しているので、視覚的に把握しやすいように、引き続き構造化を進めます。                |
|                   | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | ○   |          | ・毎日清掃している。<br>・定期的に換気を行い、温度管理を行っている。<br>・身体を動かさせたい児童にはトランポリン、ゆっくりとしたい児童にはマットレスを常備している。 | ・冬場は湿度管理も必要だと感じる。                                       |
|                   | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | ○   |          | ・静養室・個室が数部屋あり、利用者の状況により対応できている。  | ・体調すぐれない方を優先に、静養室を使用していきます。                             |
| 業務改善              | 6  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。  | ○   |          | ・会議を月一回開催し、月ごとの目標を決め、翌月評価を行っている。   | ・会議の中でPDCAサイクルを活用していけるように沢山の目標をつくっていく。                  |
|                   | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○   |          | ・評価アンケートを配布し、提出していただいている。  | ・職員と共有する必要がある。  |
|                   | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○   |          | ・毎日の朝礼・月1の会議にて意見交換の場を設けている。  | ・職員の意見等把握できた時は、改善に向けて進めていく。                             |
|                   | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | ○   |          | ・他事業所から見学を受入れ、評価・助言をいただく場を設けている。   | ・施設連絡会で、見学など取り入れて評価もしてもらえればと思います。                       |
|                   | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | ○   |          | ・外部研修に参加している。<br>・法人内でも研修を行っている。   | ・研修の内容が業務に必要なものへ参加してもらっていきます。                           |
| 適切な支援の提供          | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | ○   |          | ・ホームページに記載している。  | ・引き続き、強みを維持できるように公表していく。                                |
|                   | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | ○   |          | ・6ヵ月毎に保護者と面談を行い、計画書作成している。また保護者から依頼がある時は都度話を聞く機会を設けている。                                | ・個別支援計画書の評価や振り返り、改善を繰り返し、サービスの質を高めていく。                  |
|                   | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | ○   |          | ・更新時には職員全体で会議を行い、共通の理解を深めている。  | ・こどもの最善の利益を考慮した検討を行っていくよう意識していく必要がある。                   |
|                   | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | ○   |          | ・個別支援計画書はいつでも見れる状況にし、職員が確認できる状態である。<br>・児童一人一人に対し、計画書に沿った支援を行っている。                     | ・職員間の声掛け、支援目標シートなどを作成し、共有を継続していく。                       |
|                   | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | ○   |          | ・職員の声を集めて、多角的に使用できるように心がけている。  | ・適応行動の状況をフォーマル、もしくはインフォーマルのアセスメントを使用し確認していく。            |
|                   | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○   |          | ・個別支援計画書は一人一人に応じた支援内容を組み込んでいる。   | ・子どもの発達状況を留意しながら、具体的な支援内容を取り入れることを心がけていきます。             |
|                   | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | ○   |          | ・打合せをし、活動内容の確認、決定を行っている。   | ・固定化されないように、他の職員のアドバイスや、どのようば活動があるのか情報収集を行います。          |
|                   | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | ○   |          | ・季節に応じた活動を取入れている。<br>・月一度の里・Nextの合同活動で触れ合いの場を設けている。                                    | ・担当職員だけでなく、他職員にも意見を聞く機会を設ける。                            |

|              |    |  |   |   |  |
|--------------|----|--|---|---|--|
| 供            | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | ○ | ・集団活動は難しい児童が多く、主に集団活動を取り入れている。                                    | ・時間が取れそうな時は個別の課題に取組む。  |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | ○ | ・毎日朝礼をし、昨日の振り返り、当日の支援内容の確認を行っている。                                 | ・支援開始前には打ち合わせを行い、支援の内容を振り返り、チームで連携できるように支援を行っています。                       |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | ○ | ・職員の退勤時間がバラバラなため、できていないが、翌日に朝礼を行っている。                             | ・気付きをそのままにせず、実際支援で活用できるようにチーム間で声を掛け合いながら進めてまいります。                        |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | ○ | ・毎日支援日誌をつけ、その都度支援内容を記入している。                                       | ・記入する職員に限られているので、どの職員も記入することを意識する必要がある                                   |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | ○ | ・月に一度会議にて放課後等デイサービスの見直しにてPDCAを取り入れている。                            | ・今後も月に一度、会議の中で放課後等デイサービス計画でPDCAを取り入れていく。                                 |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | ○ | ・子どもたちが参加しやすい基本活動を毎日組込み、充実できる支援を目指している。                           | ・子どもが主になって参加できる多様な活動活動プログラムを取り入れ、日常生活の充実を図っていく。                          |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。                                | ○ | ・活動内容や遊びを複数提示し、子どもが自身で選択できる機会を作っている。                              | 言語的・非言語的コミュニケーション等で自己選択できるよう、絵カード等の方法を取り入れ、自己決定しやすい環境をつくっていく。            |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | ○ | ・担当者会議等機会があれば、児発管、直接支援している者が参加し、後日職員に共有を図っている。                    | ・今後も積極的に参画していく。  |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | ○ | ・関係機関と共有・連携を図り、統一した支援を行っている。                                      | ・関係機関と、連携を図れるように今後も体制を整えていく。   |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | ○ | ・毎日学校からの引継ぎ時、聞き取りを行っている。  | ・日頃より、引継ぎの際に、気になる事や気づきの点があれば、情報の共有を図っていく。                                |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | ○ | ・機会があれば訪問し、先生からの聞き取りや児童の様子を見に行く機会を設けている。<br>・アセスメントシートの記入をお願いしている | ・利用していた施設へ出向き、アセスメント情報を収集し・身辺自立や、目標・課題について共有を図れるように日程調整などを行い面談会議を開催している。 |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | ○ | ・引継ぎシートを利用し、卒業後利用の事業所へ渡している。                                      | ・今後も引継ぎシートを活用し情報を提供していく。   |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | ○ | ・研修の機会を設けている。   | ・今後も研修の機会にて助言を頂く。  |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | ○ | ・地域の児童とも関わりをとれる機会を設けている。  | ・弊社では地域交流スペースも併設しているので、定期的に活用していけたらと思う。                                  |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | ○ | 貝塚市、児童発達支援、放課後等デイサービス連絡会に所属している。その中で、社会福祉協議会との連携をとっている。           | ・協議会へ引き続き参加していきます。   |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | ○ | ・送迎時、連絡帳を通してや電話にて保護者と情報共有する時間を設けている。                              | ・引き続き、日頃から面談・連絡帳・電話などのツールとなる手段を用いて共通の理解に繋げて行く。                           |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | ○ | ・保護者の様子を窺い、レスパイトケアを行っている。   | ・事業所内での研修開催時にご家族の参加を促すなど、ペアレント・トレーニングとなる機会をつくっていきます。                     |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | ○ | ・契約時に行っている。また、その都度説明をさせて頂いています。                                   | ・定期的にご不明な点がないかなど、事業所からアプローチしていきます。                                       |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | ・6カ月の面談にて行っている。意向について確認する必要がある場合は、6ヶ月以内の面談にて作成している。               | ・計画書の説明の際は、相違がないよう丁寧に説明していきます。   |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | ○ | ・6カ月の面談にて行っている。   | 支援内容の説明を画面にて行い、同意を得ている。  |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | ○ | ・6カ月の面談にて行っている。<br>・必要であれば都度電話連絡・面談での対応を行っている。                    | ・適切な助言ができるよう、職員一同専門性を高めて参ります。  |

|          |  |  |   |  |   |  |
|----------|--|--|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ |  | ・保護者会はないが、年一回社内行事を通し、保護者間、きょうだい間で交流できる機会を設けている。   | ・毎年ほっこりフェスティバルを開催していて、家族も参加できるので、今後も交流の場として繋げていきたい。                    |
|          | 41   | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | ○ |  | ・送迎時や営業時間内での電話で受付している。  | ・営業時間を通して、対応して参ります。  |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | ○ |  | ・インスタグラムを使用し、情報公開している。  | ・引き続き、インスタグラムを使用して加津道内用などを保護者へ発信していく。                                  |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | ○ |  | ・個人情報厳重に管理し、不要になった物はシュレッダーにかけている。・全職員に目的利用外の禁止を定期的に周知している。                                  | ・定期的に個人情報の取扱いに注意を促して参ります。  |
|          | 44   | 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。   | ○ |  | ・子どもには絵カードを用いた視覚支援を行っており、保護者にはコドモンや電話で連絡できる体制を整えている。  | ・子ども・保護者の関係性のフォローも行えるように、引き続き専門性を高めて参ります。                              |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | ○ |  | ・無料塾の開催や・市民フェスティバルへ集積し地域住民の参加を図っている。  | ・地域に開かれた事業運営について他の手段も検討していく。   |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | ○ |  | 各対応マニュアルを作成している。  | ・職員はマニュアルに沿い、研修を行っているが、現状家族には周知できていない。                                 |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | ○ |  | ・BCP会議を行い、職員で共有している。<br>・月一度、利用者、職員で災害時を想定し、避難訓練を行っている。                                     | ・災害が発生した際、子どもが落ち着いて避難できるように月に一度の避難訓練を実施していく。                           |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。  | ○ |  | ・服薬状況を保護者から聞き取り職員間で共有している。  | ・情報の再確認を定期的に行い、全従業員で共有します。   |
|          | 49   | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | ○ |  | ・アレルギーのある子どもについて、保護者から対応を聞き取りしている。  | ・医師の指示に基づく対応は出来ていないが、保護者から聞き取りを行い、アレルギー食品を除去している。                      |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | ○ |  | ・支援室ではドアの持ち手をカバーし、指詰め防止等の事故を未然に防ぐよう工夫している。<br>・送迎車は毎日点検している。<br>・衛生管理面では、来所時や食事前に手洗いを促している。 | ・安全計画に沿った研修を実施し、安全性を高めていきます。   |
|          | 51   | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | ○ |  | ・三日間分の災害備蓄品を求め、保管している。定期的に年に2回、家族様に確認して頂き再度、事業所に保管している。<br>・ICT、登園管理を導入している。                | ・災害備蓄品の協力を得て、災害時に備えます。   |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | ○ |  | ・月一回の会議にてヒヤリハットの報告・検討会を行っている。   | ・職員体制の変化などもあり、検討会の開催が不定期となってしまっている為、早急に体制を立て直し、事業所全体で事例の検討、共有を図っていきます。 |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | ○ |  | ・虐待防止研修を行い、意見交換の場を設けている。  | ・事業所だけでなく、第三者の意見なども取り入れ、事業所の風通しを良くしていきます。                              |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○  |   | ・個別対応できる体制を汲むなど、出来る限り、身体拘束の内容に話し合いをしている。 | ・従業員全員が身体拘束適正化について理解できるように、委員会での情報周知を強化していく。  |  |